



『小さなサインを見逃さないで…』

教頭 鈴木貴之

長引く新型コロナウイルス感染症により、様々な対策や自粛等が続いております。

学校は新年度早々に臨時休業がありましたが、感染症対策を講じるとともに学習活動や行事等を見直し・検討しながら進めてまいりました。引き続き、細心の注意は必要なものの、通常の教育活動に戻りつつあります。しかし、ある調査結果では、コロナ禍の影響から



小中学生等の不登校が23%増加したとのデータが公表されました。不登校になる理由は様々ですが、特に発達障がいを抱えている子どもは、体調や環境、場面の变化に敏感な傾向があると同時に、二次的な障がいとしてうつ症状や不安障害を抱えていることも多くあります。

問題が長期化しないように、ストレスや不安、気持ちの落ち込み等が見られる子どもたちへのケアが求められています。子どもの気持ちの背景を読み取り、それぞれの特性に応じた支援策の検討が必要になります。

本校地域支援センターにおいてもご相談があれば、サポートしていきます。まだ、先の見通せない状況が続きますが、子どもの心のケアに力を合わせていきたいと思っております。



「特別支援教育研修会」

11月10日(火)に社会医療法人 あさかホスピタル 精神科専門医 武士清昭先生より「こころの病気のある子どもの教育的支援について」というテーマで講演会を実施しました。地域の小・中・高等学校や子ども園の先生方へも御案内し、病弱虚弱教育、地域のニーズにも応じた研修の場を提供しました。

講演会では、今の日本の、そして福島の子どもたちがどういう環境で暮らしているのか、踏まえつつ、子どもに起きやすい心の病気について御講演いただきました。



頑張りたくても頑張れない状態の子どもにとって「頑張って」など励ましの言葉は逆効果のことがある、学校生活における小さなことでも、考えや決断を求めることはなるべく避けましょう、など具体的な支援方法や対応の在り方について学ぶ機会となりました。

今後も地域の先生方と共に専門性の向上を図っていききたいと思います。

おらせ

武士先生の御厚意により講演会資料を学校等へデータにてお送りすることができます。本校地域支援センター「きらり」へお電話いただければと思います。

～2学期の各支援状況について～

- ✿ 出かける支援・・・25件
- ✿ 研修支援・・・・・・3件
- ✿ 来校・相談支援・・・15件



・・・出かける支援の一コマ・・・

授業を参観させていただいた後、お子さんの強みを中心に今後の支援策の検討を行い、子ども理解シートにまとめ、次の相談の際に活用しています。

・・・研修支援の一コマ・・・

「合理的な配慮」の観点をお話しました。その後、授業内容や教室環境づくりの工夫について、写真等を使って説明しました。今後も先生方と共に「どの子どもにとっても分かりやすい」「すごしやすい」授業、学級づくりを考えていきたいと思っております。